

製品名: グルタミン合成酵素ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86604**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:42 kDa; Observed MW:42 kDa

抗原情報

遺伝子名	Glutamine Synthetase
別名	GS; GLNS; PIG43; PIG59
遺伝子 ID	2752
SwissProt ID	P15104
免疫原	ヒトグルタミン合成酵素の組み換えタンパク質

背景

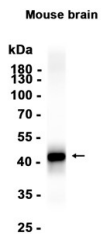
この遺伝子によってコードされるタンパク質はグルタミン合成酵素ファミリーに属し、ATP 依存性反応においてグルタミン酸とアン

モニアからグルタミンを合成する触媒作用を担います。このタンパク質は、アンモニアおよびグルタミン酸の解毒、酸塩基恒常性、細胞シグナル伝達、細胞増殖において重要な役割を果たします。グルタミンは豊富なアミノ酸であり、いくつかのアミノ酸、ピリミジン、プリン、の生合成に重要です。この遺伝子の変異は先天性グルタミン欠乏症と関連しており、一部の原発性肝癌検体ではこの遺伝子の過剰発現が観察されています。この遺伝子には、2番、5番、9番、11番、12番染色体に6つの偽遺伝子が存在します。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年12月]

研究分野

-

画像データ



グルタミン合成酵素ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。